



子どもたちの「心の声を聴こう」をテーマに 中学校で人権講演会開催

町では今年度、人権啓発活動に積極的に取り組んでいます。その一環として中学校で人権講演会を開催しました。

講師に、横浜市から青木和雄先生（児童文学作家、教育カウンセラー、法務省人権擁護委員、保護司などを兼務）と、吉富多美先生（青木先生とカウンセリング事務所を運営、本を執筆）の2名を招き、「心の声を聴こう」をテーマに講演会が開催され、中学1年生100名と教師、保護者などが参加しました。

青木先生は、いじめや受験失敗、親から心ない言葉を言われた子どもたちの例を挙げながら、「大人たちは子どもたちの心の声、心の傷を理解しよう。皆さんもいじめをしたり傍観したりせず、一人ひとりの存在を尊重し、相手のことを考えることから多くのことを学んでほしい」と訴え、吉富先生は「悩みがあったら、自分一人で悩まないで相談してください。人との関わり合いから心を育ててください」と語り、生徒たちは真剣な眼差しで話を傾けていました。終わりに生徒を代表して大沢祐輝さんから「相手のことを思いやり、尊重しながら、より良い人間関係を築いていきたい」とお礼の言葉が講師へ送られました。

吉富先生は「悩みがあったら、自分一人で悩まないで相談してください。人との関わり合いから心を育ててください」と語り、生徒たちは真剣な眼差しで話を傾けていました。終わりに生徒を代表して大沢祐輝さんから「相手のことを思いやり、尊重しながら、より良い人間関係を築いていきたい」とお礼の言葉が講師へ送られました。

暑い季節を前に食中毒予防を呼びかけ 全町で巡回指導とパレードを実施

食中毒は一年を通して発生しますが、特に発生しやすい梅雨時や夏の暑い季節を迎えて意識を高めてもらおうと、7月16日から8月15日までを食品衛生月間と定め、運動の一環として、7月16日、町食品衛生協会が中心となり、飲食店の巡回指導と食中毒予防パレードが行われました。

新津健康福祉環境事務所の監視員や協会の指導員たちが、スーパーや飲食店など約50軒を巡回し、まな板や包丁などの調理器具の清潔さを検査。その後、町内全域を車3台で2時間半パレードし、「冷蔵庫を過信しないで早めに食べましょう」などと呼びかけました。また、期間中、食中毒予防を訴える横断幕を町内6か所に取り付けたり、飲食店にパンフレットを配って注意を促しています。

町食品衛生協会では、食中毒予防の3つのポイントを次のように挙げています。

- (1) 菌を付けない……手や食器、調理器具などをよく洗う。まな板やふきん、包丁などを消毒する。
- (2) 菌を増やさない……調理したものはできるだけ早く食べる。食品は5℃以下で保存する。
- (3) 菌を殺す……加熱して調理する。



夏の交通事故防止運動 今回は立て看板を使って安全運転呼びかける

暑さによる寝不足や疲労などから、運転に対する注意力が散漫になりがちな夏を迎え、ドライバーなどに注意を呼びかけようと、7月22日から31日まで、夏の交通事故防止運動が県下一斉に行われ、その一環として7月22日、街頭指導所が川根町の県道で開設されました。

指導所には、浅見町長をはじめ、交通安全協会、交通安全母の会、ライオンズクラブ、交通安全指導員、新潟南警察署の警察官など40名が参加し、通行する車に止まってもらい、「安全運転を心がけてください」などと声をかけながらドライバーに事故防止のチラシなどを配布。さらに今回は、参加者たちが連続した立て看板を持って並び、交通事故防止を大きく呼びかけていました。

また、運動期間中は交通安全指導車で巡回したり、各地にのぼり旗を立てたりして、交通ルールの遵守・安全運転を促しました。



6月22日に開催された「子育てひろば」

横雲通りの植樹帯をきれいに剪定 横越町建設業協会がボランティア活動

6月22日、横越町建設業協会(大橋勝弘会長)がボランティア活動として横雲通りの植樹帯約1.2kmの剪定作業を行いました。

協会では、「日頃の感謝の気持ちを込めて、雇用の場である地域をきれいにしたい、地域住民の皆さんに恩返しをしたい」ということから、平成12年より側溝掃除やごみ拾いなどのボランティア活動に取り組んでおり、今回で5回目を数えました。

当日は、協会に加盟する建設会社の社員や協会役員など約30名が参加し、道路や歩道にはみ出たカンツバキやサツキなどの植え込みを、車などに注意しながら次々と刈り込んでいき、刈り取った枝葉を手際よく回収。3時間余りで横雲通りの両側の植樹帯の剪定を終えました。

親子の仲間作り・子育ての情報交換に 「子育てひろば」「子育て交流会」開催

横越町中央子どもセンターの主催による子育て支援事業が、親子のふれあいと仲間作り、子育ての情報交換を目的に、保健センターで毎月第4火曜日に開催されているほか、第1・第3火曜日には、健康推進課による自由遊びと育児相談も開催されています。

6月22日、「子育てひろば」が開催され、乳幼児と保護者合わせて約30名が参加しました。今回は新津市子育て支援センター「育ちの森」から講師2名を招き、歌に合わせて踊ったり、ハンカチを使ってカエルやひよこに変身するなど、いろいろな遊びを通して親子がふれあい、楽しく交流しました。

また、6月25日には、町内の子育てグループ4団体の共催により、「第3回子育て交流会」が開催されました。今回は「紙で遊ぼう」と題して、手作りの大型の紙芝居を見たり、新聞紙を細かくちぎって遊ぶなど、子どもたちの元気な歓声が響き渡っていました。



今年もユニーク競技が満載!! よこリンピック2004開催



7月3日、総合体育館を会場に、横越町子どもセンター協議会の主催で「よこリンピック2004」が開催されました。(参加者・スタッフ総勢約120名) この催しは、小学生から大人まで、楽しみながら体を鍛え、異年齢交流を深め、協力して物事を達成する力を身につけてもらうことを目的に毎年開催され、今年で3年目となりました。

漬け物石にキャスターを付けて転がす「おも～しんぐ」、ラダーと呼ばれるゴム製のはしごをリズム良くとび跳ね、タイムを計る「ラダーをケンパ」などユニークな5種目の個人戦や、新聞紙で作った棒とリングを使ってリレーや輪投げを行なう「チャレンジ串カツ」など、手軽にできる4種目の団体戦を楽しみ、上位者には金・銀・銅メダルが贈られました。

昨年に引き続き、町内の山崎製パン㈱・塚田牛乳㈱の協賛をはじめ、中学生ジュニアスタッフやアップルスポーツカレッジの学生ボランティア、町体育指導委員の協力により充実した内容となりました。

- ◆個人戦
- | | |
|----|-----------------------|
| 1位 | 小杉 中川 千秋さん (小学3年生) |
| 結果 | 2位 小杉 長谷川正明さん (一般) |
| | 3位 木津 宇野 愛理さん (小学5年生) |